

「Absolute Disorder」は、IVSA 2025 カンファレンスのためにキュレーター Julie が企画したマルチメディアの展示です。リサーチをベースとするアーティスト・コレクティブ 1220 (LU MENG YAO & YANG HSIN YI) は、本展にて作品 「Boxed Ukiyo」 を出展します。

キュレーションテキストの中で述べられている「知の生産における秩序の解体 (dis-ordering)」という視点に応答し、1220 の《Boxed Ukiyo》は、東京・根津にある二つの女性経営の店舗——リサイクルショップ「よろずやほたる」と、お茶屋「りんご屋」の物語を中心に構成されています。個人の記憶やオブジェクト、会話の記録を編み込みながら、地域における文化の継承と変容を可視化するマイクロ・ナラティブを提示します。

「ボックスアウト (boxout)」——すなわち枠内に強調された語りの形式——と、江戸時代の「浮世」（儚く流動する世界）の概念を組み合わせ、写真、音声、見つけた物たちを素材に、視覚・聴覚・触覚の層から場所の再解釈を試みます。

この作品は、アートプラクティスとリサーチの交差を求め、従来の学術的フォーマットにチャレンジし、反射的かつ包摂的な方法論を試みました。都市の変容、ジェンダー記憶、東アジア都市のアイデンティティといったテーマを、身体的かつ視覚的なストーリーテリングによって描き出します。

キュレーターのジュリーはこう問いかけます：

「科学的分析やアートのキュレーションは、どの程度まで鑑賞者の経験に支配的な言説を押し付けているのか？ 構造化や秩序化、選別といった行為は、何を隠し、見えなくし、従順にし、あるいは排除してしまうのか？」

Partners & sponsors:

111 ComMunity Suwon, Cultural Center (111CM), Ajou University, Cinema Dal, Gyeonggi Tourism, Organization, Gyeonggi-do Women and Family Foundation, International Visual Sociology Association, KATOM, Korean Association for Cultural Sociology, Korea Tourism Association, Suwon Convention Center, Suwon Special City, Visual Studies.